

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	いそご地域づくり塾	
事業の実施者	団体等	社会福祉法人横浜市磯子区社会福祉協議会
		特定非営利活動法人夢・コミュニティ・ネットワーク
	行政	横浜市磯子区役所
事業の目的	区役所と地域や中間支援組織が協働で実施し、専門家による講義や先進的な事例の現地見学、ワークショップでの学びあいを通して、地域活動を担う区民が地域の課題解決や魅力づくりを進める力を養う	
事業の内容	それぞれの好きなこと、得意なこと、これまでの経験を生かして、自分らしく地域で活動するために、学び合い、仲間づくり、イベント体験を通じて、地域活動の楽しさを実感するとともに、地域で活動するきっかけを得る。	
役割及び責任分担等	別紙のとおり	
実施期間	令和2年7月1日～令和3年3月31日	

記入日	令和3年5月7日
記入者	・団体等名： 社会福祉法人 横浜市磯子区社会福祉協議会 ・記入責任者 氏名： 事務局長 伊藤 学 連絡先： 045-751-0739
	・団体等名： 特定非営利活動法人 夢・コミュニティ・ネットワーク ・記入責任者 氏名： 理事長 坂本 寿子 連絡先： 045-342-7879
	・部署名： 磯子区役所地域振興課 ・記入責任者 氏名： 地域振興課長 大蔭 直子 連絡先： 045-750-2390

2 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行い、その後、「2 事業評価相互検証シート」で総合的な評価検証をおこないます。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

① 事業計画段階

		夢コミ	区社協	磯子区
1	自分たちが達成すべき大きな目的やミッションについてよく話し合うことができましたか。	A	A	A
2	お互いの立場や組織の違いを話し合っよく理解することができましたか。	A	A	A
3	ニーズを把握して共有するとともに、この事業の目標と実施方法を話し合っ決めてことができましたか。	A	A	A
4	実現のためにそれぞれが何をできるかを考え、話し合っ役割分担を決めることができましたか。	A	A	A
5	会計のルール等、お互いの組織内部の取り決めについて、説明し合っよく理解することができましたか。	A	A	A
6	事業を始めることや計画中であることを、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	B	A	B

② 事業実施段階

		夢コミ	区社協	磯子区
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	A	A	A
2	お互いの強みや得意分野を、どう生かし合えるかを考え、提案しながら取り組むことができましたか。	A	A	A
3	相手に任せっきりにせず、お互いが役割を自覚して積極的に取り組むことができましたか。	A	A	A
4	事業の進捗に応じて、目標、ニーズ、対象、実施方法などをふりかえり、修正しながら取り組むことができましたか。	A	A	A
5	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	A	A	A
6	事業終了後の見通しについて、話しながら取り組むことができましたか。	A	A	A
7	事業の進捗状況を、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	B	B	B

③ ふりかえり段階

		夢コミ	区社協	磯子区
1	協働することで、単独でおこなうのに比べてどのような効果が得られたか、話し合っ共有できたか。	A	A	A
2	受益者が満足を得られたかどうかについて、話し合っ確認することができたか。	A	A	A
3	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	A	A	A
4	期待された事業成果を得られることができたか。	A	A	B

3 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

事業の計画づくり (協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 <ul style="list-style-type: none">・これまでの協働事業等における信頼関係を基に、それぞれの立場から意見を伝えあい、情報共有により、三者の特徴を生かしながら事業全体を把握した計画づくりができた。・地域活動を始めるにあたって、地域を知ることの重要性が盛り込まれた。・新型コロナウイルス感染拡大が続く中で、感染予防に十分配慮した計画とした。
【今後改善が必要と思われること】
事業実施 (協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 <ul style="list-style-type: none">・受講生に対し、受講前からきめ細やかに対応したことで、情報の把握と共に顔の見える関係を築くことができ、スムーズな実施につながった。・地域活動の支援にあたっては、行政・中間支援組織・専門的知識を有するNPOがそれぞれの特徴を生かして役割分担をしながら進めることが効果的である。・講座修了者のフォローを目的とした地域ケアプラザとの情報共有が難しかった。
【今後改善が必要と思われること】 <p>参加者情報の地域ケアプラザとの共有方法について工夫が必要である。</p>
事業の成果 (協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)
<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍のため関係性をつくりにくい状況のなかで、受講生同士の仲間づくりに注力したことで、多様な背景を持った受講生に仲間意識が生まれ、受講後のつながりに発展した。・3者が協働でしていることで、修了生がどこでも気軽に相談できる体制が確立できた。これにより、修了生の意向に応じて適切な機関が丁寧な対応ができるようになった。
自由記入欄
<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍での実施となり企画内容の変更も生じたが、受講生・主催側がよりよい講座にしようと同じ方向を向き事業を実施できた経験は、関係者にとって今後への力になると考える

いそご地域づくり塾 役割分担

事業項目	夢コミの役割	区社協の役割	区役所の役割
1 企画及び関係機 絡調整	<ul style="list-style-type: none"> 講座内容の企画 関係機関等との連絡調整補助 	<ul style="list-style-type: none"> 講座内容の企画補助 関係機関等との連絡調整補助 	<ul style="list-style-type: none"> 事業全体の企画 関係機関等との連絡調整
2 広報及び受講者 集	<ul style="list-style-type: none"> 募集要項の作成 ホームページ等による広報 	<ul style="list-style-type: none"> 募集要項の配布補助 その他広報補助 	<ul style="list-style-type: none"> 募集要項の配布 区広報への情報掲載 その他広報 申込みの取りまとめ 受講者への連絡
3 講座当日運営及 び備 品の準備	<ul style="list-style-type: none"> 講座資料の作成 講座の運営管理 	<ul style="list-style-type: none"> 会場確保補助 講座の運営補助 	<ul style="list-style-type: none"> 会場確保 備品等の準備 講座の運営補助
4 報告書の作成等	<ul style="list-style-type: none"> 報告書の作成 		<ul style="list-style-type: none"> アンケートの作成・集計
5 事業の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 実施 	<ul style="list-style-type: none"> 実施 	<ul style="list-style-type: none"> 実施